

# 東光寺堂内奉安仏

●歴史的な尊像はモノクロです。ご諒承ください。



本尊地蔵大菩薩。檜材寄木造、立身像。江戸時代初期の作。胎内仏有り。令和元年6月、本堂新築に伴い、古色塗りで修復。尊顔は、穏やかな優しいお地蔵様です。



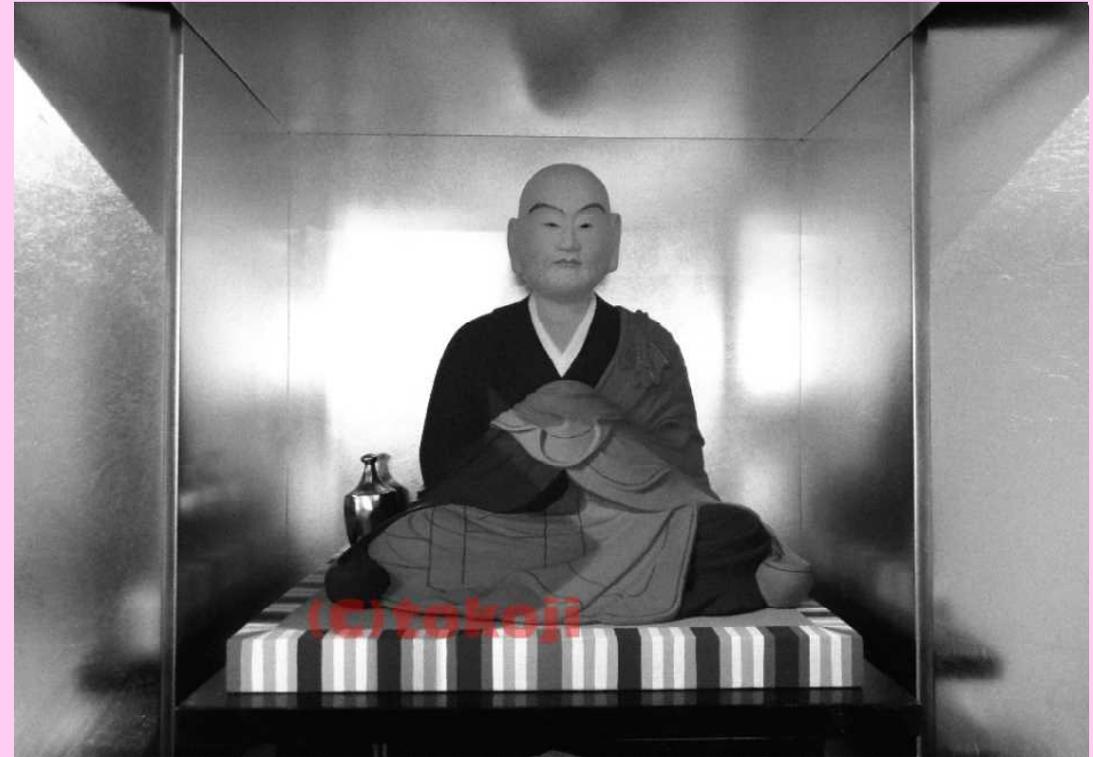
不動明王。本尊に向かって左脇間の位牌壇中央に安置。江戸時代中期の作。立身の木像。令和元年10月に彩色修復。躰から足先まで火炎を配した珍しいお姿。

# 東光寺堂内奉安仏

●歴史的な尊像はモノクロです。ご諒承ください。



弘法大師(空海)座像。痛みが激しく、ほとんど原形を留めなかったが、令和元年6月、彩色修復。



興教大師(覚鑿)座像。痛みが激しく、ほとんど原形を留めなかったが、令和元年6月、彩色修復。

# 東光寺堂内奉安仏



雲中供養菩薩。内陣の両壁面には、宇治平等院の雲中供養菩薩を模した六躰の尊像が祀られている。

# 東光寺堂内奉安仏

## ●位牌壇永代安置受付中



(本尊へ向かって左の)脇間。位牌永代安置申込者のお位牌が祀られた位牌壇の中央に、厨子に入った不動明王が祀られている。

## ●永代供養墓希望者受付中



(本尊へ向かって右の)脇間。永代供養申込家の遺骨安置室。13回忌までは、遺骨がロッカー式の遺骨棚に祀られる予定(13回忌以降は、永代供養墓に埋葬される)。床の間には、弘法大師と興教大師の掛け軸が祀られている。